



茨城の

伝統文化

団体リスト

各種イベントに出演する
伝統文化団体をご紹介します



「日本の伝統文化」を、催事や 各種イベントのおもてなしに活かしませんか。

はじめに

県内各地域では、固有の伝統文化である行事や民俗芸能など、多様な文化活動が各地域で盛んに行われています。

伝統文化は、古くから大切に継承されてきた日本の文化や芸能であり、地域のコミュニティ形成にも重要な役割を果たしています。

一方、急速に人口減少が進む社会の中で、これらの伝統文化の担い手不足が懸念されています。

県では、大人から子どもまで多くの方が伝統文化に触れる機会を提供するとともに、担い手の確保と育成に努めるため、伝統文化団体が日頃の活動成果を発表できる機会の提供に取り組んでおり、その一環として「茨城の伝統文化団体リスト」を作成しています。



「茨城の伝統文化団体リスト」の使用方法

この団体リストでは、県内を拠点に活動する様々な伝統文化団体を紹介しています。

皆様が主催される催事や各イベントにおいて催し物等の開催を検討されている場合は、伝統文化団体の出演について、ぜひご検討くださいますようお願いいたします。

各団体紹介の右上のこちらのアイコンをクリックすると団体の動画等がご覧いただけます。

CHECK!
詳しくは
こちら

本誌掲載の伝統文化団体に出演を依頼したい場合は、県生活文化課までご連絡ください。

ご希望の伝統文化団体をご紹介します。

お呼びする団体の詳細な希望が決まっていないようなご依頼でも、お気軽にお申し付けください。

※発表内容や謝礼等については、伝統文化団体の担当者と直接交渉していただくことになります。

連絡先

茨城県県民生活環境部生活文化課 文化振興グループ
電話 029-301-2824 FAX 029-301-2848
E-mail seibun2@pref.ibaraki.lg.jp



もくじ

■ 団体名をクリックすると該当ページにジャンプします。

お囃子

石名坂お囃子同好会	日立市	01P
天神ばやし保存会	常陸太田市	01P
子供天神ばやし保存会	常陸太田市	02P
常陸大津の御船祭保存会	北茨城市	02P
池田中囃子保存会	大子町	03P
笠間稲荷ばやし保存会	笠間市	03P
岩間地方囃子保存会 八幡會	笠間市	04P
近森稲荷お囃子会	笠間市	04P
瓜連おはやし保存会	那珂市	05P
菅谷鹿島神社大助ばやし保存会	那珂市	05P
小幡ひよっこ囃子保存会	茨城町	06P
秋葉囃子保存会	茨城町	06P
三鹿子ども芸座連	鹿嶋市	07P
鉾田囃子連合保存会	鉾田市	07P
大町はやし保存会	下妻市	08P
櫻塚おはやし保存会	筑西市	08P
上町お囃子保存会	筑西市	09P
下町おはやし会	筑西市	09P
神田囃子保存会神田山連	坂東市	10P
猿島ばやし保存会	坂東市	10P
井草大杉囃子保存会	境町	11P
田宮ばやし保存会	土浦市	11P
排禍ばやし保存会	石岡市	12P
貝原塚おこど囃子保存会	龍ケ崎市	12P
吉瀬三日月囃子保存会	つくば市	13P
筑波田中ばやし保存会	つくば市	13P
六斗ばやし保存会	つくば市	14P
江戸崎囃子連	稲敷市	14P
木原霞囃子	美浦村	15P
石川同志會 石丸囃子	阿見町	15P
阿見町掛馬芸能保存会	阿見町	16P

踊り・神楽舞

Project 愛	水戸市	16P
一般社団法人 水戸芸能士協会	水戸市	17P
那珂市伝統文化日本舞踊親子教室	那珂市	17P

潮来藤究会	潮来市	18P
大和田磐戸神楽保存会	古河市	18P
古河神楽保存会	古河市	19P
よさこい希	常総市	19P
美重の会	土浦市	20P
龍ヶ崎柳栄会	龍ヶ崎市	20P
華扇流日本のおどり毘座	牛久市	21P
日本のおどり毘座キッズ	牛久市	21P
日本舞踊 新舞踊 麻華流 牛久地域	牛久市	22P
かすみがうら日舞子供体験教室	かすみがうら市	22P
若浦流若浦会かすみがうら支部	かすみがうら市	23P
賀博会	つくばみらい市	23P
絹若流 若麻知会	つくばみらい市	24P
斉真桜舟舞踊団	利根町	24P

太鼓

日立太鼓連盟	日立市	25P
水戸太鼓保存会	水戸市	25P
やんさ太鼓保存会	ひたちなか市	26P
創作和太鼓集団「来舞・デュオ」	ひたちなか市	26P
創作和太鼓集団 みのり太鼓	小美玉市	27P
青山太鼓保存会	城里町	27P
東海太鼓保存会	東海村	28P
波崎はやうち太鼓保存会	神栖市	28P
亀城太鼓保存会	土浦市	29P
本陣太鼓	取手市	29P
牛久かっぱ太鼓	牛久市	30P
琉球國祭り太鼓 茨城支部	つくば市	30P
常陸乃国ふるさと太鼓会	つくば市	31P
和太鼓友	守谷市	31P
南平台和太鼓クラブ	阿見町	32P
粹人太鼓	河内町	32P

箏・三味線・尺八

邦楽サークル”風雅”	水戸市	33P
水戸市三曲連盟	水戸市	33P
大正琴ハープスターズと文化琴・ピアノ・二胡の会	那珂市	34P
琴伝流大正琴孝響ハーモニー	那珂市	34P
土浦三曲会	土浦市	35P
取手市文化連盟水野箏曲会	取手市	35P
箏曲研究室みやび	牛久市	36P
生田流箏曲正絃社 ふたつ葉会	つくば市	36P

津軽三味線 福静会	つくば市	37P
日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座	阿見町	37P

茶道・華道・書道

茨城県茶道連合会	茨城県内	38P
茶道裏千家清和会	牛久市	38P
水戸市華道連合会	水戸市	39P
水戸葵陵高等学校書道部	水戸市	39P

民謡・民舞

靖秋会	水戸市	40P
磯節道場	ひたちなか市	40P
龍ヶ崎相撲甚句会	龍ヶ崎市	41P
牛久相撲甚句会	牛久市	41P
阿見町君島芸能保存会	阿見町	42P
利根地固め唄	利根町	42P

詩吟・剣舞・詩舞

日立吟剣詩舞道連合会	日立市	43P
水府流吟道吾風会	潮来市	43P
一誠流吟研舎詩吟クラブ	結城市	44P

獅子舞

茨城獅子頭彫刻研究会	茨城県内	44P
浅川のささら保存会	大子町	45P
悪戸新田獅子舞	古河市	45P
塚崎の獅子舞保存会	境町	46P
若松獅子舞保存會	石岡市	46P
太子囃子獅子舞保存会	かすみがうら市	47P
曙面舞会	阿見町	47P

能

茨城県能楽連盟	茨城県内	48P
日立市文化少年団能楽部	日立市	48P

演劇

劇団 椿	茨城県内	49P
日立会演劇部	日立市	49P
西塩子の回り舞台保存会	常陸大宮市	50P

その他

大根むき花保存会	水戸市	50P
無比無敵流杖術保存会	ひたちなか市	51P
六代目三遊亭圓窓の仏っ子連神栖亭	神栖市	51P
下妻市伝統芸能保存連合会	下妻市	52P
大塚戸芸能保存会	常総市	52P
筑波山がまの油売り口上研究会	つくば市	53P
筑波山名物 福来七色唐がらし売り口上保存会	つくば市	53P
筑波山ガマ口上保存会	つくば市	54P
わこう一座	つくば市	54P
小張松下流綱火保存会	つくばみらい市	55P
高岡流綱火更進団	つくばみらい市	55P

日立市

いしなざかおはやしどうこうかい

石名坂お囃子同好会

石名坂町内に町民から深く信仰されている北野神社の境内に合祀されている八坂神社の祇園祭及び例祭は、毎年旧暦の6月14日前後に開催されます。その祭事は江戸時代頃から続いています。昭和31年頃に交通状況等により神輿が町内を渡御することが中止となったため、居祭りとなり、昭和60年頃まではお囃子の奏者によって祭りを盛り上げていました。



その後、奏者の高齢化に伴い、お囃子の演奏が途絶え、平成21年6月、町内有志を募り同好会を発足し、伝統文化であるお囃子3曲(①通りばやし②蛙がえし③おおばこ)を特訓し復元しました。

現在の活動は、町内の神事、コミュニティ推進会、敬老会、幼稚園・小学校等のイベントへの出演などで、伝統文化の継承・発展に努めています。



CHECK!
詳しくはこちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

常陸太田市

てんじんばやしほぞんかい

天神ばやし保存会

天神ばやしは、今をさかのぼること800年前、室町末期から安土桃山期に常陸国を統一した佐竹氏の時代に、城下で農兵を集める際や出陣のときに打ち鳴らされた太鼓が起源と言われます。その後、それが農民の娯楽となり代々継承され、現在では常陸太田市の貴重な文化遺産となっています。

小太鼓は2拍子で素朴そのものですが、それに合わせて打つ大太鼓は全身の力を振り絞り、長短と強弱を巧みに織り交ぜた、勇壮果敢で躍動感にあふれる

バチさばきで、往時の無骨な気性を表現した音曲となっています。

天神ばやし保存会は、佐竹氏の地元常陸太田市天神林町の有志が中心となり昭和52年に結成され、県内外の各種イベントに多数参加する他、老人ホーム等での演奏や、小学校等における指導等、伝統芸能の継承にも積極的に取り組んでいます。

平成29年には教育・文化の向上への功績が認められ、茨城県表彰を受けました。

CHECK!
詳しくはこちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず (雨天時は屋外不可)	時期を問わず	対象を問わず	要相談

常陸太田市

こどもてんじんばやしほぞんかい

子供天神ばやし保存会

子供天神ばやしは、地域に伝承されている天神ばやしを末永く保存すべく、平成13年6月に結成され、小学3年生から6年生の児童が、毎月2回水曜日の夜に練習しています。子供らしく元気いっぱいに太鼓を打ち鳴らすことと、あいさつや返事がしっかり出来、思いやりの心を持つことを指導の一環としています。

市内外のイベントにおける演奏の他、福祉施設の慰問活動にも力を入れています。

平成24年には、群馬県前橋市で開催された第14回日本太鼓ジュニアコンクールに茨城県代表として出場しました。



CHECK!
詳しくは
こちら

また、平成26年第15回茨城教育の日推進大会において県から善行表彰を、同じく市教育振興大会においても善行表彰を受けました。

平成28年にパルティホールで開催された「子ども伝統文化フェスティバル」では、県内各地域の伝統文化の団体とともに力一杯に天神ばやしを披露しました。

持ち曲は、「天神ばやし」「光華(かがやき)」「鼓響」など。10分前後、最長20分ぐらいまでの演奏

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず (雨天時は屋外不可)	時期を問わず	対象を問わず	要相談

北茨城市

ひたちおおつのおふねまつりほぞんかい

常陸大津の御船祭保存会

御船祭は、北茨城市大津町に鎮座する佐波波地祇(さわわちぎ)神社の祭礼で、5年ごとの大祭に行われます。祭がいつ頃始まったのかは明らかではありません。

御輿に乗せた神船は、水主(歌子)の歌う御船歌や囃しにあわせて500人ほどの曳き手に曳かれ、約5時間かけて浜の津神社下に到着します。

船底には山車のような車輪はなく、ソロバンと呼ばれる井桁状に組んだ約300丁の木枠を敷き、20~30人の若者が船縁にとりつき左右に揺らしながら木枠の上を滑らすように曳いていきます。

津神社下で下船した御輿は、潮垢離の神事を行った後、神社に環御します。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

大子町

いけだなかはやしほぞんかい

池田中囃子保存会

古くから地域で伝承されてきた祭り囃子を愛好者が会として立ち上げ、日々研鑽しつつ、ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財の栃木県那須烏山市「山あげ祭」に囃子方として参加しています。

要請があれば施設等の慰問やイベントへの参加などしています。

チームは大胴1、締太鼓2、鼓2、鉦1、横笛1の構成で、新囃子、矢車、四丁目など12曲前後の「烏山小宅流」の曲目を奏でます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

笠間市

かさまいなりばやしほぞんかい

笠間稲荷ばやし保存会

「笠間稲荷ばやし保存会」は、古い伝統を保存し、後世に伝えるため、昭和41年(1966年)門前商店街の有志により発足しました。

第1～第4火曜日、19:30～22:00(子ども21:00まで)、笠間公民館大ホールで練習をしています。

会の名前の由来にもなっている「稲荷囃子」と言う曲は、お稲荷さんのおつかいでもある三匹のきつねが打ち鳴らす太鼓で、古くから城下町、門前町として

栄えた笠間の氏子達が、笠間稲荷神社に奉納して来た太鼓です。

叩く者は元より、聞いている方々にも、無病息災・五穀豊穰・商売繁盛・子孫繁栄など、たくさんの福があると言い伝えられています。

■ ホームページ : <http://inaribayashi.com/>

■ Instagram : @kasamainaribayashi



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず (雨天時は屋外不可)	要相談	対象を問わず	要相談

笠間市

いわまちはやしほぞんかい はちまんかい

岩間地方囃子保存会 八幡會

八幡會は、昭和39年に設立された「岩間地方民謡はやし保存会」の後継団体として、昭和55年に笠間市(旧岩間町)上町地区在住の若者を中心メンバーとして設立されました。

八幡會が奏する「岩間囃子」は通説によると、享保年間江戸に起こった葛西獅子が、江戸に訪れた人々によって常陸國に伝えられ、岩間地方には明治の初めに伝えられたといわれています。

演目は、鉦・笛・太鼓によって演奏される撒切り、

昇殿、ひょっとこ、おかめ、きつね、獅子の6曲からなるお囃子と、踊り獅子舞があります。

笠間市下郷の総鎮守である六所神社の秋の例大祭に出演する他、年間数回程度の公演を行っています。

平成9年1月23日、笠間市無形民俗文化財に指定されました。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内外を問わず	土日祝日 (10月～1月末はお受けできない可能性あり)	対象を問わず	要相談

笠間市

ちかもりいなりのはやしかい

近森稲荷お囃子会

私達は笠間駅前の稲荷町にて創設されたお囃子会です。稲荷町町内会の組織として近森稲荷神社を中心に、笠間の祇園祭、笠間のまつり、町内盆踊りなどで演奏をしています。

また、行政との連携協力で笠間のマラソン大会、オリンピック聖火リレーなどでも演奏をしました。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

那珂市

うりづらおはやしほぞんかい

瓜連おはやし保存会

CHECK!
詳しくは
こちら

昔は、春の季節や秋の季節には、笛や太鼓の音色が、朝から夜更けまで聞かれたものです。それがまた唯一の楽しみであったかも知れません。身も心も祭りばやしに誘われて、古き良き時代の思い出として「なつかしい」です。

活動については、毎週水曜日の午後6時から9時まで、那珂市瓜連の「総合センターらぼーる多目的ホール」を利用して練習しています。

「瓜連おはやし保存会」は、瓜連地区の神社祭礼に伴う「おはやし」を古き良き時代の伝統として後世の方々に残したいと、昭和58年4月に保存会として始めたもので、今年43年となりました(令和8年3月現在)。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

那珂市

すがやかしまじんじゃおおすげばやしほぞんかい

菅谷鹿島神社大助ばやし保存会

CHECK!
詳しくは
こちら

菅谷の大助祭(提灯祭)の山車上で演奏されるおはやしです。「通りばやし」を主として「ひょっとこ」「男ばやし」で神社へ繰り込みます。境内での競演はみごとであります。



帰路は「四丁目」「四段返し」といった、ゆっくりした曲を奏します。昭和30年代に大助祭が復活したのと同時に、大助ばやしも再び演奏されることになりました。

現在は3年に一度の大祭以外の年に、「大助ばやし大会」が開催され、子どもたちが普段の練習の成果を披露するよい機会になっています。

2004年12月に那珂市指定無形民俗文化財となりました。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

茨城町

おばたひよつとこばやしほぞんかい

小幡ひよつとこ囃子保存会

CHECK!
詳しくは
こちら

「ひよつとこ囃子」は、茨城町小幡地区に伝わる郷土芸能です。茨城町小幡地区に築かれていた「小幡城」の城主が「お囃子」をこのほか好み、愛宕神社の祭礼に領民に囃子を演じさせたのが始まりと言われ、その起源は鎌倉時代とも言われています。

内容は「長胴、小太鼓、笛、鉦」による『お囃子』に合わせて、「きつね、おかめ、ひよつとこ」などの『舞』を、様々な面や衣装を身に付けて演じるものです。



この伝統芸能を後世に伝えるため、昭和元年に「小幡ひよつとこ囃子保存会」が設立され、昭和46年9月に茨城町の無形民俗文化財に指定されました。

会員約30名(令和8年3月現在)で伝承活動に取り組んでおり、毎年7月に茨城町小幡地区で行われる「小幡祇園祭礼」を始め、要請に応じて各種イベントに出演しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内外を問わず (雨天時は屋外不可)	時期を問わず	対象を問わず	要相談

茨城町

あきばばやしほぞんかい

秋葉囃子保存会

CHECK!
詳しくは
こちら

秋葉ばやしは、江戸時代以前から二所神社の祇園祭に五穀豊穡・無病息災を祈願し、賑やかに演じられてきました。年間5~7件ほどの公演があり、町の無形文化財の指定も受け、この素晴らしい伝統芸能を後世に伝えるため、40名の会員で活動しております(令和8年3月現在)。

演目は、獅子、狐、おかめ、ひよつとこの一連のお囃子です。囃子手は、長胴・小太鼓・横笛・鉦で賑やかに演じます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日 (春秋頃)	対象を問わず	3~5万円

鹿嶋市

みろくこどもげいざれん

三鹿子ども芸座連

鹿嶋市には、佐原や潮来などのお囃子の源流と言われる「木滝阿波囃子」があります。しかしながら演奏できる人たちが少なくなり、一時期途絶えそうになりました。

そこで唯一「木滝阿波囃子」の音を知っている方にご協力を頂き、櫻鈴芸座連で演奏を復活させ、これを後世にも伝えていくため、櫻鈴芸座連を指導者

として「木滝阿波囃子」を中心に、お囃子の保存継承を目的として、市内の小学生を対象に伝承教室事業を行っており、児童で「三鹿子ども芸座連（三笠子供芸座連・かしまっ子芸座連）」を結成し、市内各所（年10回程度）で演奏しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず (雨天時は屋外不可)	時期を問わず	対象を問わず	要相談

銚田市

ほこたばやしれんごうほぞんかい

銚田囃子連合保存会

銚田囃子の起源は大正時代ともいわれ、旧銚田町に伝わる祭礼囃子を礎とし、近隣の佐原や石岡のお囃子の影響を受けつつ、地域の発展と時代の変遷とともに受け継がれてきた伝統芸能です。

演目はさんぎり、早馬鹿、おかめ、ひよっとこ、しちょうめ、きつね、親馬鹿、大漁節、大和等があり、笛、太鼓、鼓、鉦が織りなす優美で軽快な調べは、祭の

高揚感を引き立て、世代を超えて人々の心をつないでいます。

令和4年には銚田市無形民俗文化財として指定され、保存会を中心に後継者育成や教育機関、市のイベント等での実演を通じ銚田市の誇る文化として未来へ継承されています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

下妻市

おおまちはやしほぞんかい

大町はやし保存会

下妻市指定無形民俗文化財に指定されています。疫病除けや豊作の祈願をこめた勇壮な農民の祇園囃子です。

西豊田本郷(八千代町)の囃子が鬼怒川沿岸域に伝播したもののひとつで、大太鼓、小太鼓、鼓、笛、鉦により「三喜利」「可良寿」「大町太鼓」などの曲目を演奏します。

伝統芸能保存、継承活動の他、地元の夏祭り、演奏会やイベントへの参加、福祉施設への慰問演奏等を行っています。

CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	要相談	対象を問わず	要相談

筑西市

さくらつかおはやしほぞんかい

櫻塚おはやし保存会

櫻塚おはやし保存会は、筑西市(旧関城町)関本の祇園囃子を保存継承する為に、昭和53年に結成されました。会員44名で(令和8年3月現在)「関本の祇園囃子を昔のままに継承」をスローガンに、地元子ども会育成会と連携し「笛・太鼓教室」を昭和57年より始め、祭り囃子の楽しさの継承育成活動を続けています。

演目は大太鼓・小太鼓・大鼓・小鼓・鉦すりの

演奏で、演奏曲は送り込み・カラス・こさぎり矢車・キリン・さんざり・とりさんざり・七鳥面・通り神楽・馬鹿囃子です。

活動の中心は7月に開催される関本の祇園祭りで、演奏しながら地元の地区を練り回ります。10月には筑西市関城の祭典どすこいペア、台東区姉妹・友好連携都市のPRフェスタ(筑西市PR)で演奏を披露しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず	要相談 (土日祝日)	対象を問わず	要相談

筑西市

かみちょうおはやしほぞんかい

上町お囃子保存会

私達、上町お囃子保存会は筑西市関本上町地区で活動している団体です。

年間の主な活動は関本地区夏祭り、関本神社輪くぐり、下館わっしょいカーニバル、どすこいペアへの参加です。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	要相談	対象を問わず	要相談

筑西市

しもちょうおはやしかい

下町おはやし会

私たち下町おはやし会は、筑西市関本下町地区に伝わるお囃子の保存と伝承のために平成7年に結成されました。

翌年には山車を新調し、約30名の会員が年間を通して練習に励んでいます(令和8年3月現在)。演奏する曲は、昔から地区に伝わる曲だけにとらわれず、新しい曲にも積極的に取り組んでいます。そのために外部との交流にも力を入れています。

地元の関本祇園祭りを中心に、どすこいペア、わっしょいカーニバル、その他のイベントにも積極的に参加しています。

今後も、技術の向上と伝達のために努力を続けていくつもりです。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

坂東市

かんだばやしほぞんかいかどやまれん

神田囃子保存会神田山連

県指定無形民俗文化財である「神田ばやし」を保存・継承するために活動しています。

会員が減少しているなか、地区全体に声かけをし、なんとか存続させようと頑張っています。

坂東市で毎年開催している「将門まつり」に出演し、「仁羽」という曲目を演奏しながら練り歩きます。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
市内	屋外	11月頃	対象を問わず	要相談

坂東市

さしまばやしほぞんかい

猿島ばやし保存会

猿島ばやしは生子八坂神社の祭礼の際に、神輿の渡御に伴って奏楽されます。大・小鼓、鼓、笛などを使い演奏されます。

江戸時代初期から中期にかけて、隆盛を極めたと言われていています。私たちはこの伝統のおはやしを守り、より発展するよう各イベントに参加、活動を行っています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日、昼	対象を問わず	要相談

境町

いぐさおおすぎばやしほぞんかい

井草大杉囃子保存会

創設は江戸時代であり、創設から250年が経過しています。集落の香取神社の祭典である2月の辻止め、7月の夏祭りとして五穀豊穡・家内安全を祈ってお囃子を行っています。

7月の祭典の前に毎週土曜日に練習を大人・子ども合同で行っています。

お囃子の演目は、からすばやし・はやしゃんぎり・こしゃんぎり・その他10曲ほどあります。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日、昼	対象を問わず	要相談

土浦市

たみやばやしほぞんかい

田宮ばやし保存会

「田宮ばやし」は、室町時代に田宮梶ノ宮神社例祭へ奉納された神前囃子で、茨城県指定無形民俗文化財に指定されています。

このお囃子は、元の村(田宮村)の名をとって田宮ばやしと呼ばれています。演目は7種類あり、特に「疱瘡ばやし」は天然痘の退散を祈念するもので、独特の唄と踊りが今に伝えられています。田宮ばやしは、演奏に鉦(かね)を使用しないという特徴もあります。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

石岡市

はいかばやしほぞんかい

排禍ばやし保存会

1962年10月に茨城県指定無形民俗文化財となりました。毎年7月に地区八幡神社における祇園祭、10月には八幡神社秋祭りに奉納されるお囃子です。

獅子舞、おかめ踊り、狐踊り、ひょっとこ踊りの4つの演目のお囃子に踊り手が加わり、祭りが盛り上がります。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

CHECK!
詳しくは
こちら

龍ヶ崎市

かいはらつかおこどばやしほぞんかい

貝原塚おこど囃子保存会

おこど囃子の由来は、徳川家光公の時代、五穀豊穡、悪病退散、さらに天下泰平を祈願するものとして、「おこど祭礼」が行われたことにあります。

大杉神社の悪魔祓いのお囃子である「通り阿波囃子」を演奏することにより、貝原塚村が救われたのが始まりとも言われています。

市の祇園祭、撞舞、市の商工会祭り、社会福祉協議会の催しの際に、出演依頼を受け活動をしています。それぞれの催しの際に、「しゃんぎり囃子」「通り阿波囃子」「大杉囃子」「矢車囃子」「神田囃子」「馬鹿囃子」の6つの囃子を披露しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず	要相談 (土日祝日)	対象を問わず	交通費のみ

CHECK!
詳しくは
こちら

つくば市

きせみかづきばやしほぞんかい

吉瀬三日月囃子保存会

吉瀬三日月囃子保存会は、天保年間の1830年代に多かった流行り病、飢饉を追い払う術として始まり後に疫病退散、無病息災、五穀豊穡を祈願して集落を練り歩いたのが起源と伝えられています。

昭和に入ってから京都八坂神社の祇園祭として七月にお神輿、提灯を持った子供たちと一緒に集落を演奏して練り歩くお囃子となりました。

CHECK!
詳しくは
こちら

昭和59年には桜村(現つくば市)より指定無形文化財の指定をいただきました。

発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

市内

屋内外を問わず

土日祝日

対象を問わず

要相談

つくば市

つくばたなかばやしほぞんかい

筑波田中ばやし保存会

田中地区に伝わる民俗芸能で、明治中期に創設されました。戦時の中断を経て継承され、昭和61年に筑波町無形民俗文化財に指定され、現在はつくば市指定となっています。毎年7月30日は田中日枝神社例大祭に出演し、また施設慰問やイベント等への出演も行っています。演目は、きつね・おかめ・ひよっとこの手踊り、五段囃子・さんざりです。

CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

近隣市町村

屋内外を問わず
(雨天時は屋外不可)

土日祝日

対象を問わず

要相談

つくば市

ろくとばやしほぞんかい

六斗ばやし保存会

明治の初期に東京から伝わり100年の月日がたち、つくば市の無形文化の指定を受けております。

江戸ばやしの流れをくみヒョットコ、キツネ、しし舞があります。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内	日曜日	対象を問わず	要相談

稲敷市

えどさきはやしれん

江戸崎囃子連

我々「江戸崎囃子連」は、江戸崎町内の若手有志が集まり、週一回の稽古や、各演奏会やイベントへの参加、福祉施設への慰問演奏などのボランティア活動を行っております。

そして、それらの活動を通して、江戸崎のお囃子のルーツである「佐原囃子」や「あんば囃子」の歴史、文化の研究と、演奏技術の向上に励んでおります。

近年では「悪魔祓い囃子連」として、稲敷市阿波の大杉神社の行事にも参加しております。また、年一回地元小学校にて「お囃子教室」も開催しております。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

美浦村

きはらかすみばやし

木原霞囃子

木原霞の囃子は地元愛宕神社の祭礼で150年以上続いており、現在は地方祇園祭、文化祭、チューリップ祭り等、様々な場所で公演を行っています。

年間5件ほど公演を行っており、最近は福祉施設などでも公演させていただいて盛んとなってきました。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	5万円程度

阿見町

いしかわどうしかい いしまるばやし

石川同志會 石丸囃子

当会がある阿見町石川地区では、明治末期から無病息災、五穀豊穡、家内安全を祈り念じる祭りとして、鹿島神社境内でひょっとこや源太踊りを行っていましたが、昭和初期頃に自然消滅になってしまいました。

昔の行事をどうにか復活させ地区を活性化させようと平成18年にこの会を結成し現在に至っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

阿見町

あみまちかけうまげいのうほぞんかい

阿見町掛馬芸能保存会

発足23年の団体で、メンバーは3才～85才までの伝統芸能、継承の団体です(令和8年3月現在)。

太鼓、掛馬ばやし、ひょっとこ、しし舞等、太鼓と踊りを発表しています。阿見町伝統技能まつり他、年10回程出演しています。練習は月2回実施しています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	昼	対象を問わず	交通費～ 5万円程度

水戸市

ふろじえくと あい

Project 愛

2002年より国際色豊かなメンバーで日本舞踊をベースにしたショーをしています。

主に関西・海外での活動でしたが、今後は水戸・茨城の歴史に関連したテーマでショーを展開していきます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要確認

水戸市

いっばんしゃだんほうじん みとげいのうしきょうかい

一般社団法人 水戸芸術士協会

昭和の初期には300名ほどいた水戸の芸妓も15年前には3人となり、御座敷文化を継承する水戸の芸妓「舞方」が、水戸市を中心として御座敷やイベントで舞・御座敷遊び・唄・お囃子・太鼓を披露しております。

令和7年3月には水戸市地域無形文化財第1号に「水戸の座敷舞」として認定されました。磯節全国大会では水戸の磯節を披露、那珂湊八朔まつり、金砂神社小祭礼の山車にも出演させて頂いています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

那珂市

なかしでんとうぶんかにほんぶようおやこきょうしつ

那珂市伝統文化日本舞踊親子教室

CHECK!
詳しくは
こちら

文化庁の委嘱により、那珂市において日本舞踊親子教室を開催しています。幼稚園年少から高校生まで、那珂市ふれあいセンターすがやで、第1・3土曜日の午前中稽古をしています。

さくら祭り、文化協会発表会、文化祭などに出演し、地域との交流をはかっています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
市内	屋内	要相談	子ども	要相談

潮来市

いたこふじみかい

潮来藤究会

設立は平成20年であり、江戸時代より「藤娘」の一説に潮来が用いられるなど、潮来発祥の唄や日本舞踊も数多く伝えられており、あやめ祭り、月まつりに出演するなど、年間10件の公演を行っています。

演目は古典の「さくらさくら」から、現代の「糸」「千本桜」や、男踊りもあります。市から依頼の外国人体験舞踊も行っています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	要相談	対象を問わず	要相談

古河市

おおわだいわとかぐらほぞんかい

大和田磐戸神楽保存会

当神楽は、1760年壬生藩（藩主鳥居家）に家老に次ぐ待遇の名主・齋藤所左衛門らが、埼玉県鷲宮神社に伝わる神楽を習得し、疫病退散、五穀豊穡等を祈願し創設しました。その後、神宮も少なくなり保存会を結成し、現在まで受け継がれています。

地域の鷲神社の春祭り、古河市の「さんさん祭り」に毎年参加するほか、民俗芸能の集い、小学校訪問等地域文化の伝承・周知を図っています。

神楽は神話に基づく12種目で構成され、1989年に茨城県無形民俗文化財に指定されました。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
市内、関東地方	屋内	要相談 (土日祝日、昼)	対象を問わず	その他 (状況に応じて交通費、用具運搬費、餅代等)

古河市

こがぐらほぞんかい

古河神楽保存会

当神楽は、岩戸神楽・十二座神楽ともいう出雲流神楽です。享保十年に鶴峯八幡宮へ伝来した神事で、神々による天地開闢から岩戸神話、日本の国を修り治め成し、国土安穩・天下泰平・五穀豊穡を願う姿を十二種の構成にて舞います。

享保十三年の初奉納から現在まで、一度も途切れる事無く伝承されてきました。途中、神主のみでの奉納が困難となり、昭和4年中田神楽保存会を結成、現在は発展し古河神楽保存会と称するに至ります。

更には、地域伝統文化の周知と伝承の為「伝統文化こが神楽親子教室」を開き、小学校や市民ホール等での体験授業や発表会を実施しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内	要相談	対象を問わず	要相談

常総市

よさこいのぞみ

よさこい希

これまで以下のイベント等に出演してきました。

- 令和3年11月 歴史館いちょう祭り
- 令和4年1月 水戸市 地女連新春の集い
- 令和5年9月 天満町町内会 敬老文化祭

CHECK!
詳しくは
こちら



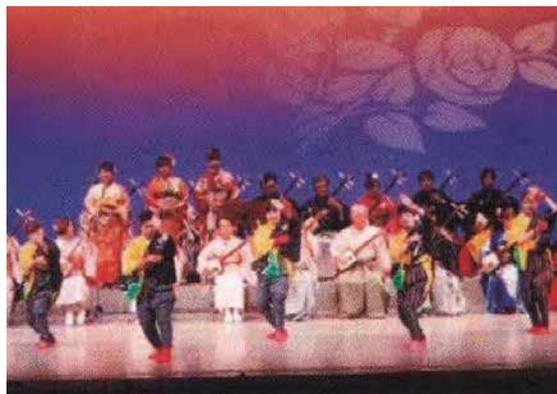
発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	昼	高齢者	要相談

土浦市

みえのかい

美重の会

美重の会は主に、津軽舞踊・南部舞踊を主として稽古しています。土浦市の文化祭、施設訪問、色々なクラブのイベント等にお声を掛けていただいています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談

龍ヶ崎市

りゅうがさきりゅうえいかい

龍ヶ崎柳栄会

嘉永2年に初代花柳芳次郎(のちに初代花柳壽輔)によって創立され、現在5代目まで続く日本舞踊最大の流派・花柳流を、龍ヶ崎市を中心とした近隣市区町村から広く会員を集め稽古・発表をしています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

牛久市

かせんりゅうにほんのおどりよろこびざ

華扇流日本のおどり崑座

日本舞踊を基本に、創作や民舞等、古くて新しいものを求めて楽しく学んでいます。

中学生から80代までの会員が、「助け合い、励まし合い、分ち合う!!」をモットーに、地域のお祭りやイベントに積極的に参加しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内	土日祝日 (大人のみなら平日可能)	対象を問わず	交通費

牛久市

にほんのおどりよろこびざきっず

日本のおどり崑座キッズ

華扇流二代目家元・華扇崑れは(流祖は花柳流)主宰。

古典・創作・民舞等の日本の踊りを学び、伝統芸能継承を目的に約15年、数多くの子どもの指導を行い、全国大会優勝やトルコ国際児童フェスティバル日本代表に導きました。

現在は弟子の華扇崑らりが子どもの指導を行い、

家元・崑れはは補佐で指導にあたっています。

地域のお祭りやイベントを中心に舞台活動を行っています。

■ Instagram → @_yorokobiza



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

牛久市

にほんぶよう しんぶよう あさかりゅう うしくちいき

日本舞踊 新舞踊 麻華流 牛久地域

創設は1999年で、26年になります(令和8年3月現在)。関東を中心に日本舞踊、新舞踊などお稽古しています。静岡、東京、日立などで発表会を開いています。牛久地域も毎年初舞を開いています。

令和8年12月には、浅草公会堂にて「麻の会」が開催されます。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	要相談 (昼)	対象を問わず	要相談

かすみがうら市

かすみがうらにちぶこどもたいけんきょうしつ

かすみがうら日舞子供体験教室

伝統文化の継承・育成をすることにより、市の文化向上になり、感性の豊かな、そして心ゆたかな子ども達になってほしいと思っています。

着物のたたみ方、あいさつの仕方をはじめ、童謡、唱歌、古典童曲などを習っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日 (11月頃)	子ども、大人	要相談

かすみがうらし市

わかうらりゅうわかうらいかすみがうらしぶ

若浦流若浦会かすみがうら支部

日本舞踊をみんなで勉強、発表を行っています。
現在は新舞踊が多くなってきており、演歌の曲に合わせた踊りが中心になっています。さらに発表の場を作っていただければありがたいです。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	時期を問わず	対象を問わず	交通費

つくばみらい市

かひろかい

賀博会

昭和48年に会をつくり、会のおさらい会を毎年、きらくやまふれあいの丘「世代ふれあいの館」で開き、2025年10月4日に40周年の発表会を終わらせました。毎年いろんな施設(雅荘、いなほの里、ぬくもり壮など)へ慰問にうかがって、入所者のみなさまにはよろこんでいただいています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
市内	屋内	時期を問わず	対象を問わず	交通費込みで1万円程度

つくばみらい市

きぬわかりゅう わかまちかい

絹若流 若麻知会

かつて「正派若柳流」に在籍していましたが、国立大劇場において開催される「華扇会」の10回出演の表彰を受けたのをきっかけに故郷に戻り本格的歌舞伎舞踊を普及させようと平成8年「絹若流」を創流創設しました。

小さなお子様から一般の方たちも花唄、清元、常磐津等の踊りを勉強しており、三年毎の本衣裳

つけての発表会や毎年開かれるおさらい会、市の文化祭などにも出演しております。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内 (文化施設など)	土日祝日、昼	対象を問わず	要相談

利根町

さいまおうしゅうぶようだん

斉真桜舟舞踊団

斉真桜舟舞踊団は、3歳～名取まで総勢100名ほどの団員により構成されています。

日本舞踊・新舞踊・民謡・詩舞・中国舞踊・インド舞踊・韓国舞踊・ジャズダンス・Kポップダンス・児童舞踊など様々なジャンルの舞踊を披露することができます。

それぞれのイベントのニーズに合わせて敬老会・結婚披露宴・記念式典後のレセプション・クリスマス・企業の新年会など。出演依頼承ります。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内	土日祝日	対象を問わず	交通費(要相談)

日立市

ひたちたいこれんめい

日立太鼓連盟

日立太鼓連盟は、市内のお囃子保存会、太鼓保存会や創作太鼓の会のメンバーが平成10年に日立太鼓連絡会として発足し、平成11年に現在の日立太鼓連盟に改め現在に至っています。

平成12年に、加盟団体の全員で演奏が出来る曲として合同曲「さくら太鼓」を会員の手で創作し連盟の公演の際に演奏し、好評を得ています。平成13年に、連盟のシンボルとして、山車をつくろうとなり、各方面の協力と支援を頂き、『市民屋台さくら』が完成しました。

その後は、日立さくらまつりには『市民屋台さくら』は平和通りを一般市民の参加を得ながら練り歩き、好評をいただいています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日 (加盟団体の都合による)	対象を問わず	要相談

水戸市

みとだいこほぞんかい

水戸太鼓保存会

徳川御三家、水戸の第九代藩主徳川斉昭公は天保11年に戦の演習として「追鳥狩」を行いました。先陣の合として打ち鳴らされた陣太鼓に水戸の太鼓の歴史はさかのぼります。

水戸の太鼓の歴史を礎に新しい水戸の御上芸能として昭和48年に水戸太鼓が創作されました。曲は15曲のレパートリーを有し、曲の雰囲気は水戸の古き良き伝統と四季折々の情景を織り込んでおります。勇壮な曲、華やかな曲を折りまぜています。

数年前より津軽三味線を取り入れて太鼓との競演を行い演奏の幅を広げています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

ひたちなか市

やんさだいこほぞんかい

やんさ太鼓保存会

やんさ太鼓保存会は、昭和4年まで約300年に渡り、旧那珂地方48ヶ村を巻き込んだ「ヤンサマチ」と呼ばれる壮大な祭に思いを馳せ、昭和53年に勝田商工会議所青年部が中心となって発足しました。

「ヤンサマチ」で行われた御神事で、各村を代表する馬が2里8町(8.7km)の砂浜を競走する様子を表したスピード感溢れる曲「やんさ太鼓」をはじめとし、様々な曲調のレパートリーを持ち、年間20回ほどのイベント等で、元気な20代のメンバーを中心に、皆さんと一緒に楽しめる演奏を披露しています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近県、関東地方	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	5~10万円

ひたちなか市

そうさくわだいこ「らいぶ・でゅお」

創作和太鼓集団「来舞・デュオ」

2000年1月結成。令和2年度に茨城県功績者表彰[教育・文化の向上]の分野で、団体として受賞しました。

全国各地のイベントでの出演回数は8,000回を越え、聴衆を感動と興奮の渦に巻き込んできました。

2人だけでのシビアなステージを追求する創作和太鼓『来舞・デュオ』ですが、和太鼓のみの楽曲の他、和太鼓と篠笛のコラボレーションの楽曲などを主に演奏しています。演奏曲は、すべてオリジナルです。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

小美玉市

そうさくわだいこしゅうだん みのりだいこ

創作和太鼓集団 みのり太鼓

CHECK!
詳しくは
こちら

「新しい文化の起爆剤に!」と、平成4年に結成した創作和太鼓グループです。

小美玉市を拠点に、和太鼓のおもしろさを感じていただけるよう、県内外の演奏活動のほか、舞台表現に力を入れた演奏会やコンサートなど企画・演出しています。このほかに、体験会などの普及活動、地域ボランティアなど精力的に行っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

城里市

あおやまだいこほぞんかい

青山太鼓保存会

CHECK!
詳しくは
こちら

私たちは城里町を拠点に活動している「青山太鼓保存会」です。伝統曲から創作太鼓まで幅広く親しみ、太鼓を通じて町に活気を与えることを目的に活動しています。

城里町の豊かな自然に響き渡るような、力強く、そして温かい音作りを目指しています。保存会といっても堅苦しい雰囲気はなく、子供から大人まで、世代を超えた交流を楽しみながら練習に励んでいます。

私たちの奏でる音が、風景の一部として皆様の心に届くよう、一打一打を大切にしています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	要相談 (土日祝日、出演日の 2か月前までに依頼)	対象を問わず	要相談

東海村

とうかいだいこほぞんかい

東海太鼓保存会

平成4年に発足した東海太鼓保存会は、東海村内のお祭りや地域まつり、福祉施設での演奏を中心に活動しています。会員は小学生から社会人まで、楽しく練習や演奏活動を行っています。毎年4月には、地元「村松虚空蔵尊」での大祭で奉納太鼓を、2006年より演奏しています。

和太鼓を通し、地元の皆さんとの交流等を深め、地域に親しまれる会として今後も活動していきたいと思っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日(夏・冬休みは平日も応相談)	対象を問わず	要相談

神栖市

はさきはやうちたいこほぞんかい

波崎はやうち太鼓保存会

波崎はやうち太鼓保存会は1985年に結成し、現在(令和8年3月時点)は下は小学生から20代30代を中心に上は60代まで在籍し県内外の各イベントに参加しております。

活動拠点の神栖市太田地区では地元青年団主催の納涼盆踊りや、270年の歴史がある恵日山長照寺の祭事「御会式」での演奏で地域に密着した活動を行っています。

曲目は会の名称にもなっている、太鼓と笛が早さを競う「はやうち太鼓」をフラッグソングとし、軽快な太鼓と笛のリズムに合わせ、纏と纏を力一杯ぶつけ合う「小桜がえし」などの10数曲があります。



CHECK!
詳しくはこちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

土浦市

きじょうだいこほぞんかい

亀城太鼓保存会

私たち亀城太鼓保存会は、土浦七夕まつりの企画として、土浦専門店会青年部が土浦独特の地域や風土を表現した組太鼓として「亀城太鼓」が誕生しました。現在は地元土浦を中心に活動しています。

各所でのお祭り、イベント出演、老人ホームや幼稚園・保育園学校などで発表をしています。世界湖沼会議のカウントダウンや、土浦駅前にお越しいただきました平成天皇皇后両陛下の前でも演奏しました。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

取手市

ほんじんだいこ

本陣太鼓

本陣太鼓は平成17年に結成、取手市在住の子育て中の主婦と子どもたちが中心となり活動しています。

取手市の地域文化発展に貢献するべく、市内外のイベントや幼稚園、老人ホームなどの各種施設で演奏しています。

会主の故郷青森県の風物詩『青森ねぶた祭り』で演奏される『出陣太鼓』と『進行』を太鼓演奏の入り口とし、『お母さんでも子どもでも凛とした太鼓打ち』を目指し、主に創作太鼓を演奏しています。

『本陣』の名前にはこのねぶたの陣頭陣地と、皆の心の拠り所となる『我が家』のようでありたい、という意味が込められています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

牛久市

うしくかっぱたいこ

牛久かっぱ太鼓

平成4年に発足し、令和8年で34年になりました。レパートリーは12曲ほどです。

年間出演回数は15.6回ほどで、時には4か所を掛け持ちしたりと忙しくも楽しく活動を行っています。

仕事をしている会員が多くなかなか全員そろって練習ができなかったりと様々な苦労もありますが、みんな太鼓が大好きなので工夫しながら頑張っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

つくば市

りゅうぎゅうこくまつりだいこ いばらきしぶ

琉球國祭り太鼓 茨城支部

CHECK!
詳しくは
こちら

「琉球國祭り太鼓」は、1982年に沖縄市の泡瀬を中心とした若者たちによって結成されました。

大太鼓を中心としたエイサーをベースに空手の動きや独自の振り付けによって、新たな文化を創造し、感動を生み出しています。

年齢性別国籍関係なく幅広いメンバーで構成され、沖縄が大切にしてきた「迎恩」の心を打ち響かせています。

結成40年を迎えた現在、その輪は沖縄を超え、日本国内51支部・8カ国海外30支部、総勢2,500名余り(2025年12月現在)と世界規模にまで活動の場を広げています。

茨城支部は2011年5月に古河市で結成されました。現在は活動拠点をつくば市に移し、小学生から40代まで、20名程度のメンバーで活動しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

つくば市

ひたちのくにふるさとたいこかい

常陸乃国 ふるさと太鼓会

CHECK!
詳しくは
こちら

昭和51年つくばの地に結成され、創立50年目を迎える歴史ある団体です。

宗主平井隆から引き継ぎ現在2代目会長のもと、練習に励んでいます。

大小問わず色々なイベント、公共機関、企業からの依頼、デイサービスまで幅広く出演し活動しています。

「五臓六腑に染み渡る」力強い演奏を特徴としています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	土日祝日 (それ以外は要相談)	対象を問わず	要相談

守谷市

わだいこゆう

和太鼓友

CHECK!
詳しくは
こちら

和太鼓友は2010年に結成され、市内外のイベントで演奏しております。

県外イベントは、成田太鼓祭りや浅草太鼓祭り、草ぶえの丘太鼓祭り、関八州太鼓祭りなど。県内は守谷市のMOCOフェスタ、商工まつり、守谷和太鼓フェスタなどに出演しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内外を問わず	土日祝日、昼	対象を問わず	要相談

阿見町

なんべいだいわだいこくらぶ

南平台和太鼓クラブ

私たちは平成16年より新興住宅地である阿見町南平台にて結成されました。

当初は南平台に居住するメンバーだけでしたが、今では近隣の村や、行政区からも参加しているメンバーもいます。主に秋田の民謡太鼓を中心に月2回練習を実施しています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内	土日祝日	対象を問わず	交通費 (2~3万円程度)

河内町

すいじんだいこ

粹人太鼓

粹人太鼓は古来より水の神を祀る粹な人達の太鼓です。荒ぶる神を鎮め、護国・豊穰・家内安全を願う、親から孫へとつなぐ奉納太鼓です。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日 (昼、夏冬休み)	子ども、高齢者	要相談

水戸市

ほうがくさーくる ふうが

邦楽サークル”風雅”

2002年に設立された箏・三絃・尺八のグループです。古典から現代曲、ポップスまで幅広いジャンルを演奏します。文化庁から「伝統文化親子教室事業」の承認を受け、親子で楽しく活動しています。楽器貸出有。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内	要相談 (土日祝日)	対象を問わず	要相談

水戸市

みとしさんきょくれんめい

水戸市三曲連盟

昭和39年に設立し、会員数は約110名です(令和8年3月現在)。

箏(こと)・三味線・尺八による団体で、子供も一緒に水戸市芸術祭や茨城県芸術祭参加の演奏会に出演しています。

また求めに応じて学校や各施設のイベント等に於いて出前演奏も行っています。

箏や尺八という伝統楽器を体験して貰う試みとして

文化庁事業である「伝統文化親子教室」に参加し、水戸市内の小・中学校に呼び掛けて4ヶ月にわたる体験会を実施し、最後の講座日にはお披露目会も催します。

日本の伝統文化を楽しみながら他者を敬う心を養い、知らないうちに礼儀作法も身に付くという、世界に誇る文化活動に参加しましょう！



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

那珂市

たいしょうことハープスターズとぶんかごと・びあの・にこのかい

大正琴ハープスターズと文化琴・ピアノ・二胡の会

大正琴、文化琴、二胡を使って演奏会を行っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内	昼	対象を問わず	5000円～1万円

那珂市

きんでんりゅうたいしょうことこうきょうはーもにー

琴伝流大正琴孝響ハーモニー

那珂市を中心に演奏活動をしています。琴伝流大正琴茨城県大会、那珂ふれあいコンサート、文化祭、公民館まつりなどに参加したり、福祉施設等でのボランティアコンサートを開催したりして、社会貢献しています。一年に一度、1年で学んだことを孝響ハーモニー定期演奏会で発表しています。

ぜひ、大正琴コンサートを開催しませんか？



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	要相談 (昼)	大人、高齢者	要相談

土浦市

つちうらさんぎょくかい

土浦三曲会

土浦三曲会は発足以来、51年目になります(令和8年3月現在)。

県南地域で日本の伝統文化である箏と三絃と尺八を大事に守り、後世につなげるべく活動を続けています。

現代曲から古典まで各社中の師範の指導のもと練習に励み、その成果を年2回演奏会で発表しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談

取手市

とりでしぶんかれんめいみずのそうぎょくかい

取手市文化連盟水野箏曲会

第23回国民文化祭いばらき2008に参加し、この時「伝統文化取手小中学校クラブ」として取手市内の小中学生45名が参加しました。

また岡山、山梨、秋田、愛知、奈良、別府、新潟国文化祭へ参加し、平成26年には「全国高校総文化祭いばらき2014」にて特別演奏をしました。

さらに、文化庁次世代に次ぐ舞台芸術発表に毎年

参加(取手市内小中学校)し、平成30年には「好文の梅・華麗なる桜・春の一日“箏”の花を咲かせます」と題して、近代美術館で開催された第2回ミュージアムコンサートに参加しました。その他、取手市文化祭にも毎年参加しております。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談

牛久市

そうきょくけんきゅうしつみやび

箏曲研究室みやび

平成元年に創設しました。代表の藤田高子は生田流沢井箏曲院教授で、故沢井忠夫氏や沢井一恵氏、沢井比河流氏に師事しています。

主な活動は年2回(夏・冬)の自主企画コンサートと伝統文化親子教室、牛久市主催のシビックコンサート(10月)です。

特に親子教室は14年続けていて、延べ約500人の

生徒を指導しました。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	土日祝日	対象を問わず	要相談

つくば市

いくたりゅうそうきょくせいげんしゃ ふたつばかい

生田流箏曲正絃社 ふたつ葉会

ふたつ葉会は、生田流箏曲正絃社つくば教室の会です。

講師の稲垣佳代子の指導のもと、小学生からシニア世代まで約30名がお箏や三味線の演奏を楽しんでいます。

これまで、子ども伝統文化フェスティバルの他、つくば市民文化祭音楽会や都山流尺八茨城支部

定期演奏会等にも出演を重ねてきました。

古典から現代の曲までレパートリーの幅は広く、たくさんの人に箏の音色を楽しんでいただけたらと思います。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談

CHECK!
詳しくは
こちら

つくば市

つがるしゃみせん ふくせいかい

津軽三味線 福静会

茨城県福祉センターシニアマスターに登録して、県南中心に老人ホームや地域住民の方の希望に応じて、民謡の出前で唄と津軽三味線の魅力を広く伝えております。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	昼	対象を問わず	交通費のみ

阿見町

にほんそうごうでんとうげいのうしゅうだん いさかとしゆきしゃちゆう きらくざ

日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座

津軽三味線井坂流家元／公益財団法人 日本民謡協会公認、民謡・三味線師範教授 井坂斗絲幸師が率いる若手伝統芸能集団です。

津軽三味線・和太鼓・舞踊・唄・お箏など日本伝統芸能を総合的に演じます。総勢100名以上による大ホールでの迫力の合奏から少数精鋭による学校公演や老人ホームの慰問まで様々なステージを手がけています。

その熱気とパワー溢れる感動のステージが好評を博し、国内外で活躍中です。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

茨城県

いばらきけんちゃどうれんごうかい

茨城県茶道連合会

茶会(室内・野点)をおこなっています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	要相談 (土日祝日、昼)	対象を問わず	要相談

牛久市

さどうらせんけせいわかい

茶道裏千家清和会

清和会は発足して29周年目になりました(令和8年3月現在)。牛久市の文化祭およびひな祭りの際に茶会を催して参加したり、さまざまな席で大勢の方におもてなしをして楽しんでいます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談

水戸市

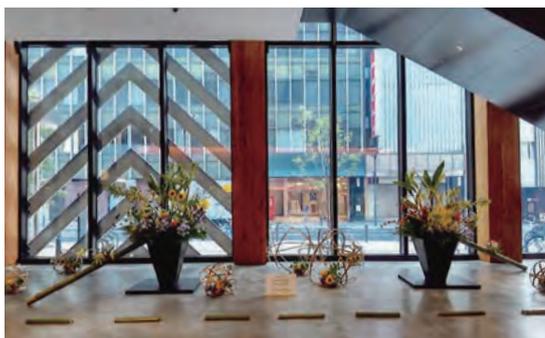
みとしかどうかれんごうかい

水戸市華道連合会

昭和24年に結成しました。当会は2023年7月、水戸市民会館記念事業として水戸のいけ花展に参加し、又開館1周年にはお祝いの花として流派を越え、お互いを理解し心で花を活けるという思いで、1つの作品を製作しました。

毎年5月頃に水戸芸術館現代美術ギャラリーに

おいて、大作を活け、多数の来場者に楽しんでいただいています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	要相談 (土日祝日、昼)	対象を問わず	その他 (花材のみ)

水戸市

みときりょうこうとうがっこうしょどうぶ

水戸葵陵高等学校書道部

2025年に開催された第18回書道パフォーマンス甲子園にて優勝。年間50件以上のパフォーマンスを行っています。メディア、番組にも多数出演しています。詳細はInstagram、ホームページ、TikTok等をご覧ください。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内(場合に よっては屋外も可)	時期を問わず	対象を問わず	要相談

水戸市

せいしゅうかい

靖秋会

磯節全国大会、茨城県芸術祭、水戸市芸術祭などに毎年参加しており、過去にはつくば万博でも演奏しました。茨城県内外でのコンサート、介護施設などでも演奏をし、入居者の方々に喜ばれています。

2026年には、会として50周年を迎え、民謡民舞と和楽器の祭典を開催します。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず	要相談	対象を問わず	要相談

ひたちなか市

いそぶしどうじょう

磯節道場

「伝えたい のこしたい ふるさとのひびき」をモットーに50余年、日本最大民謡の「磯節」や「網のし唄」などの郷土民謡と、市指定の無形民俗文化財である「天満宮御祭禮(八朔祭り)屋台囃子」の伝承のため、幼児から大人までがみんな一緒に楽しくお稽古しています(無料指導)。



CHECK!
詳しくは
こちら

八朔祭りでの演技披露や地元敬老会への出演、ひたち海浜公園での出演などで、茨城県内の民謡を中心に発表しています。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

龍ヶ崎市

りゅうがさきすもうじんくかい

龍ヶ崎相撲甚句会

相撲甚句は江戸享保年間から約300年に渡り歌い継がれてきた相撲界の民謡です。大相撲では巡業・興行や花相撲で謳われ、また愛好家のなかでは発表会や介護施設等の訪問、地域文化芸術祭等に参加し、相撲甚句を披露しています。

令和7年度は、市文化祭2回、介護施設等3回、商工会行事2回、全国愛好家発表会1回、相撲部屋訪問3回、その他1回、活動しました。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近県、市内	屋内外を問わず	要相談 (昼)	対象を問わず	要相談

牛久市

うしくすもうじんくかい

牛久相撲甚句会

相撲甚句は、江戸末期より大相撲の発展とともに親しまれ、今や相撲ファンと共に相撲の民謡として親しまれている。

当会は、二所ノ関親方(元横綱稀勢の里関)の角界入門同時期(平成14年)に発足し、積極的な応援と共に会も盛り上がってきた。

さらに普及発展に精進したい。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ

阿見町

あみまちきみじまげいのうほぞんかい

阿見町君島芸能保存会

君島芸能保存会は1968年6月1日に発足し、58年が経過しています(令和8年3月現在)。

1987年7月30日には阿見町民俗芸能無形文化財にも指定されました。

主に町のイベントへの出演、老人ホーム等慰問など、年間5回程度公演を行っています。

太鼓、笛、鉦によるおはやし演奏によるひょっとこ踊りです。



発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

県内

屋内外を問わず

土日祝日

対象を問わず

要相談

CHECK!
詳しくは
こちら

利根町

とねじがためうた

利根地固め唄

機械が無かった頃、人力で堤防をつくるため、皆が動きをそろえられる様、地固め唄が作られました。

当時の作業を唄を唄いながら披露します。



発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

県内

屋内

土日祝日

対象を問わず

要相談

CHECK!
詳しくは
こちら

日立市

ひたちぎんけんしぶどうれんごうかい

日立吟剣詩舞道連合会

詩吟は、江戸時代の後期に漢詩を学ぶ際に、節をつけて朗読(朗詠という)することから始まり、現在に至ります。

剣詩舞は、江戸から明治に変わり、武士の時代が終わり、廃刀令により剣も武道も成り立たなくなった際に、武道に舞を合わせた剣舞術というものが生まれ、現在に至っています。

日立吟剣詩舞道連合会は、日立市民会館で毎年行っている日立地区文化祭で詩吟(吟詠)、剣詩舞を発表し、伝統芸能の継承・発展のために個々に活動していた各会に声を掛け、平成11年に結成された団体です。30名から5名程度の中小の9流会で構成しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ

潮来市

すいふりゅうぎんどうごふうかい

水府流吟道吾風会

茨城県吟詠剣詩舞総連盟に所属し、その中で大会やコンクール、芸術祭等に出演し活動しています。

日本コロムビア(株)吟詠音楽界に所属し、東北・関東地区、さらに全国大会にも出演しています。

鹿行地区が主で老人ホーム等の慰問を行っています。

その他チャリティー大会等実施して、年に1度寄付しており、30年以上になります。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内	時期を問わず	対象を問わず	要相談 (基本は無償)

結城市

いっせいりゅうぎんけんしゃしぎんくらぶ

一誠流吟研舎詩吟クラブ

芸術文化の振興発展と各流、各会の親睦交流を期し、詩吟の価値を高め精神的醸成に努め中国、日本の古来よりの詩吟、和歌、新体詩、俳句などの基本を学び伝統芸能としての吟詠普及向上に努めています。

直近では、詩吟、詩舞、剣詩舞など時節に合わせ企画し、「遊戯の会」(ゆげのかい)を発足し、更なる伝統芸能普及向上に努めています。

「名槍日本号」「桜田門」「蘭丸哀歌」「講道館に梅花を賞す」「名将時宗」などを演舞します。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ

茨城県内

いばらぎししがしらちょうこくけんきゅうかい

茨城獅子頭彫刻研究会

研究会は石岡在住の彫刻家・来栖龍保先生の指導を受け、県内各地から参加していた人々が各地に支部を作り活動するようになりました。

現在ひたちなか市、茨城町、美野里、石岡市、土浦、土浦みなみ、阿見町の7支部があり、平成14年10月に統一組織として茨城獅子頭彫刻研究会を発足しました。

本部は各支部が持ち回りで、展示会や祭りなどで活動するときは世話役となって行事を行っています。当会は獅子頭彫刻の実習、研究を主としますが、会員の中には祭りに関わる獅子舞、おかめ、ひよっこなどの神楽面などの演舞に熟練した人もおり、これら面の彫刻にも取り組んでいます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	要相談

大子町

あさかわのささらほぞんかい

浅川のささら保存会

浅川のささらは、大子町大字浅川の熊野神社に伝わる獅子舞であり、江戸時代より約400年の伝統を受け継ぐ郷土の民俗芸能です。

獅子三頭は、太郎獅子、次郎獅子、女獅子と称し、10種の舞を奉納します。演技は、舞手3名と囃子方の笛吹4名の計7名により行われますが、この7名の新旧交代は、熊野神社20年毎の正遷宮祭典に際し行われ、

新演技者は次の祭典までの20年間獅子に関する芸能の保存維持承継の責任を果たす習わしがあります。

浅川上・下の熊野神社及び真弓神社の氏子、趣旨賛同者では、保存会を結成して、この貴重な郷土芸能の保護と伝承にあたっています。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず (雨天時屋外不可)	要相談	対象を問わず	要相談

古河市

あくとしんでんししまい

悪戸新田獅子舞

「ササラ」とも称され、古河公方・足利成氏(しげうじ)の命により、当地に流行した悪疫の平癒と退散を祈願して舞ったのが起源とされています。

明治43(1910)年から大正7(1918)年の渡良瀬川の河川改修事業によって悪戸新田が河川敷となったため一時行われませんでした。昭和元(1926)年に流行した伝染病を契機に、翌年悪戸新田出身者によって保存会が結成されて復活しました。

毎年、夏の祭礼最終日(7月下旬)に市内約30か町を巡行します。



CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
-	-	-	-	-

境町

つかざきのししまいほぞんかい

塚崎の獅子舞保存会

獅子舞の起源ははっきりしませんが、嘉永元年九月の日付の入った記録簿があり、今日まで厳格に継承されてきました。

三人で舞う獅子舞は、笛の調べに合わせて太鼓を叩きながら舞います。

地域も家庭も何事も相談しながら、仲良く暮らして欲しいという、先人の想いが込められた舞を守る活動をしています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
近隣市町村	屋内外を問わず	要相談	対象を問わず	要相談(基本的には無償、お弁当代程度)

CHECK!
詳しくは
こちら

石岡市

わかまつししまいほぞんかい

若松獅子舞保存會

茨城県石岡市に伝わる獅子舞を、同市旧若松町地区において独自に保存・継承している団体です。

地域の氏子行事を基盤とし、「石岡のおまつり」で披露される獅子舞に、代々受け継がれてきた所作や解釈を大切にしながら、時代に応じた趣向も取り入れています。伝統を尊重しつつ、一部に創

作演目を加えることで、獅子舞の魅力を現在へと伝え続けています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず	要相談	対象を問わず	要相談

かすみがうら市

たいしばやししまいほぞんかい

太子囃子獅子舞保存会

かすみがうら市を拠点に獅子と山車が一体となった幌獅子使った獅子舞を演じます。

会員は子供を含む約50名。見たいとの要請に応え公共施設や福祉施設、県内外の会場にて演じます。

CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日	対象を問わず	5万円～

阿見町

あけほのめんぶかい

曙面舞会

曙面舞会は、結成以来26年が経過し(令和8年4月現在)阿見町伝統文化協議会に加入し、毎年町の伝統芸能発表会に出演し好評を博しています。

特に恵比寿・大黒様・獅子舞は慶事や新年の出演依頼が多く会員の志気を高めています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	その他(無償、町外は交通費)

茨城県内

いばらきけんのうがくれんめい

茨城県能楽連盟

茨城県内で活動している多くの団体を構成員として、能楽の普及活動や発表会を行っています。

謡や仕舞、お囃子等の実演はもちろんですが、能楽に関する歴史や特徴、また能舞台をはじめとする能面や笛、小鼓、大鼓、太鼓等のご説明や体験にも対応できます。小学校から大学、さらにはいろいろな団体

に対する特別授業や公演などの要望にも対応できます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	時期を問わず (余裕をもって ご連絡願います)	対象を問わず	要相談

日立市

ひたちしぶんかしょうねんだんのうがくぶ

日立市文化少年団能楽部

私達は、子供の時から、能楽、舞、謡、大鼓、小鼓、笛を習得しています。

文化庁からも長年補助をいただいています。お稽古場は、日立市の祐月庵舞台です。

一年中、県の発表、市の発表に参加しています。礼儀、所作、日本の和歌、リズム、音楽の中に、日本の良さがつまっています。一緒に学びましょう。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内	土日祝日	対象を問わず	要相談

茨城県内

げきだん つばき

劇団 椿

大衆演劇は、江戸時代から続くお芝居や踊りを中心とした日本の伝統芸能です。

茨城県出身、芸歴 21 年の演者が、剣舞や扇子などを使った華やかで迫力ある舞で観客を魅了します。女形・立役どちらの役柄も自在にこなし、表現の幅の広さも魅力のひとつ。伝統の美しさ

を大切にしながら、現代の感性も取り入れた舞台づくりを心がけています。

初めての方にも楽しんでいただけるような、身近で迫力ある舞踊の世界をお届けします。

主にイベント会場や演劇劇場で舞踊を披露しています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内を問わず	時期を問わず	対象を問わず	要相談

日立市

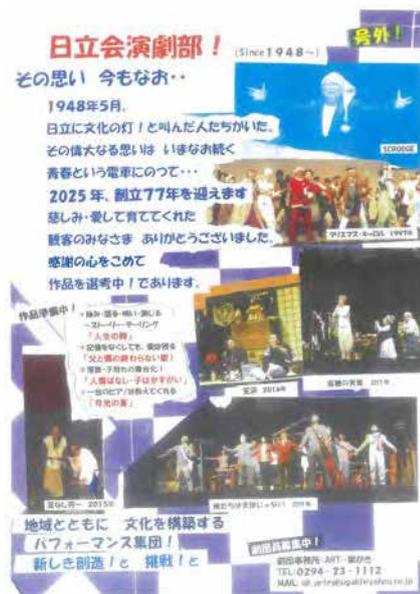
ひたちかいえんげきぶ

日立会演劇部

1948年創立。年2回の公演で、141回を数えます(令和8年3月現在)。

演劇をはじめ、ストーリーテリング、紙芝居など、パフォーマンス集団として活動しています。

高校生から高年層まで「愉快地楽しく」活動しています。経験がなくても興味ある人の参加を歓迎します。また、施設訪問なども行っています。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	土日祝日、昼	対象を問わず	要相談 (基本は無償)

常陸大宮市

にししおごのまわりぶたいほぞんかい

西塩子の回り舞台保存会

江戸時代後期の道具も残る、県指定有形民俗文化財の組立式農村舞台。地域の祭礼時に畑を借上げて組み立て、人形浄瑠璃や歌舞伎の興行を行ってきました。

終戦の年で途絶えていましたが、平成9年に半世紀ぶりに復活し、地元住民主体の地芝居一座「西若座」の歌舞伎と、子どもたちによる常磐津

舞踊や歌舞伎等を上演しています。

組み立てが不定期であるため、西塩子の回り舞台での披露は限られますが、子どもたちは毎年稽古に励んでいます。

CHECK!
詳しくはこちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	要相談 (土日祝日、昼)	対象を問わず	要相談

水戸市

だいこんむきばなほぞんかい

大根むき花保存会

1本の大根を材料として、ぼたん、あやめ、菊などを包丁1本で本物そっくりに作り上げるものです。1本の大根を「みずむき」(かつらむき)にして花を作る方法はきわめて高度な技法を必要とするもので、元石川町地区のみに伝承されている民芸です。約140年の歴史があります。

CHECK!
詳しくはこちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋内外を問わず	要相談 (11月～2月頃まで)	対象を問わず	要相談

ひたちなか市

むひむてきりゅうじょうじゅつほぞんかい

無比無敵流杖術保存会

私どもの杖術は関ヶ原の戦いにおいて九尺の槍を使い合戦中、槍先が折れ柄をもって奮戦し、その後水戸藩に仕え以後、この地を中心に伝承しました。

明和、天明の頃から水戸藩の武芸者のみならず、民衆の自衛武術として近郷近在において栄え、昭和46年9月に、旧那珂湊市無形文化財指定を受け、現在は15代を根本憲一唯之が継承して、古武道の保存と振興に努めています。

〈流儀の特徴〉

- 1 構えは槍の操法が基本となり、身は半身、足は丁の字、打つと見せて引く、引くと見せて突く、突くと見せてさくる。
- 2 一に眼、二に気合、三に構え。
- 3 伝は以心伝心、千変万化、電光石火の一撃で倒す。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ

神栖市

ろくだいめさんゆうていえんそうのほとけっこれんかみすてい

六代目三遊亭圓窓の仏っ子連神栖亭

落語協会相談役六代目三遊亭圓窓師匠により神栖市に創設された落語稽古連です。

厳しくも優しい指導の下、千葉県小学四年生国語の教科書に師匠の「ぞろぞろ」掲載などもあり、各地での講演を多数行っています。

師匠ご逝去の後、三遊亭萬窓師匠に引き継がれ、丁寧で分かりやすい指導をいただき日頃から稽古の日々です。

茨城県での本格的な落語の稽古場はここだけ(多分)。楽しんで笑うだけでなく、実際に落語を稽古し頭を使いボケ防止やコミュニケーション能力の向上など様々な分野での期待大です。

また、各地の講演など発表の場に出ることによって多くのひととの繋がりができ人生明るくなること間違いなし。

圓窓師匠いわく「落語で人生は変わる」を心に楽しんでおります。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋内	時期を問わず	対象を問わず 小学生以上)	その他 (師匠は10万その他は 交通費と笑顔で(笑))

下妻市

しもつましでんとうげいのうほぞんれんごうかい

下妻市伝統芸能保存連合会

土着伝統芸能の維持継承活動をしています。

発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋内(文化ホール等屋内施設)	時期を問わず	対象を問わず	団体当たり10万円程度

常総市

おおつかどげいのうほぞんかい

大塚戸芸能保存会

常総市大塚戸には江戸時代初期より連綿と続く珍しい花火があります。大塚戸の綱火として県の無形民俗文化財の指定を受けています。

木偶に火薬を装備し、地上10mに張り巡されたされた綱を利用し、空中を操り人形の如く火を噴かせ躍動させるというものです。

演目の一つである「鯉の滝登り」では、一匹の小さな鯉が突然7mの大龍に変化するというよう

な工夫がなされ、地元では別名、「からくり綱火」とも呼んでいます。

演目は「那須の与一」や「安珍と清姫」など67種目に及び、毎年、その中より一つ選び、趣向をこらして準備し、秋に行われる一言主神社の奉祝祭に奉納されます。

CHECK!
詳しくはこちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内	屋外	夜	対象を問わず	-

つくば市

つくばさんめいぶつ ふくれなないろうがらしうりこうじょうほぞんかい

筑波山名物 福来七色唐がらし売り口上保存会

筑波山には古来より福来みかんが生息し、観光資源の1つです。福来みかんの皮(陳皮)は香りが良く、地元の方々には親しまれ、江戸時代から日本の代表的な「唐がらし」として有名です。依りて、地域住民、登山者、参拝者、観光者等々筑波山の良き文化を先々に語り継げるよう発信するボランティア活動の保存会です。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
関東地方	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ(筑波山名物福来唐辛子を販売)

つくば市

つくばさんがまのあぶらうりこうじょうけんきゅうかい

筑波山がまの油売り口上研究会

茨城県に江戸の昔より伝わります筑波山ガマの油売り口上(つくば市認定地域無形民俗文化財)がございます。

この大道芸を後世に伝え、ボランティア活動を行うため平成12年(2000年)に研究会を設立し、主に県内のイベント(古河桃まつり・ひたち海浜公園・各所の桜まつり・道の駅や福祉施設等)へ参加するとともに、無料の講習会を実施しております。

地域の活性化や会場の盛り上げに利用してください。場所と時間に合わせて対応させていただきます。



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、近県	屋内外を問わず	時期を問わず	対象を問わず	交通費のみ

つくば市

つくばさんがまこうじょうほぞんかい

筑波山ガマ口上保存会

筑波山ガマの油売り口上は日本の大道芸を代表する芸能で全国的に知られています。

現在、その伝統芸能はつくば市認定地域無形民俗文化財に認定され筑波山ガマ口上保存会はその「ガマの油売り口上芸」の伝承と保存を目的に活動しています。

CHECK!
詳しくは
こちら

発表場所

全国

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

つくば市

わこういちざ

わこう一座

筑波山の伝統芸能・ガマの油売り口上と、新日本舞踊の組み合わせで、文化祭のステージや各老人ホーム等をボランティアとして訪問し、皆様に喜んでいただいております。

発表場所

県内

発表施設

屋内

発表可能時期

平日、昼

発表対象

大人、高齢者

謝礼

無償

つくばみらい市

おぼりまつしたりゅうつなびほぞんかい

小張松下流綱火保存会

小張松下流綱火の始祖は松下石見守重綱公といわれています。戦国時代末期に陣中で戦勝祝いなどにより披露されていました。

からくりは1603年から1616年に、小張城山で戦に奮闘した犠牲者の慰霊のための行事として城内で行われた行事が端緒であり、廃城の時からくり秘法と

火薬の製法を家来の1人に伝授してからくりを永く保存せよと達して烏山城に転討しました。

現在は8月24日に秘伝のからくりと火薬を仕掛け、お囃子に合わせ人形芝居を演じます。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
全国	屋外	要相談	対象を問わず	要相談

つくばみらい市

たかおかりゅうつなびこうしんだん

高岡流綱火更進団

高岡流綱火は、仕掛花火付き空中人形芝居とお囃子が一体となった操り人形劇で、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けています。

約400年前の慶長18年(西暦1613年)愛宕神社の祭礼のときに大樹から赤と黒の蜘蛛が舞い降り、巣を作る様から村人が創作したと伝えられています。村人は、この蜘蛛は「神の使いであろう」との暗示を得て縄を用いてわら人形を操り、空中動作をさせて楽しみあったのが綱火の始まりで、これを愛宕神社へ奉納して高岡集落の安全を祈願して

います。

最初は、花火も無くわら人形だけを操っていたのですが、たいまつ、提灯、火薬の伝来とともに花火を人形に取り付けるようになりました。仕掛け花火の演出に加え、笛や太鼓などの鳴り物と調和させ一層華やかなものとなっています。

演目は、二六三番叟、浦島龍宮入海辺花園、高岡丸之清遊、壮絶空中戦など数種類の演目があります。

CHECK!
詳しくは
こちら



発表場所	発表施設	発表可能時期	発表対象	謝礼
県内、関東地方	屋外	要相談 (土日祝日、夜)	対象を問わず	要相談

県北地域

日立市	石名坂お囃子同好会	お囃子	01P
	日立太鼓連盟	太鼓	25P
	日立吟剣詩舞道連合会	詩吟・剣舞・詩舞	43P
	日立市文化少年団能楽部	能	48P
	日立会演劇部	演劇	49P
常陸太田市	天神ばやし保存会	お囃子	01P
	子供天神ばやし保存会	お囃子	02P
北茨城市	常陸大津の御船祭保存会	お囃子	02P
常陸大宮市	西塩子の回り舞台保存会	演劇	50P
大子町	池田中囃子保存会	お囃子	03P
	浅川のささら保存会	獅子舞	45P

県央地域

水戸市	Project 愛	踊り・神楽舞	16P
	一般社団法人 水戸芸能士協会	踊り・神楽舞	17P
	水戸太鼓保存会	太鼓	25P
	邦楽サークル”風雅”	箏・三味線・尺八	33P
	水戸市三曲連盟	箏・三味線・尺八	33P
	水戸市華道連合会	茶道・華道・書道	39P
	水戸葵陵高等学校書道部	茶道・華道・書道	39P
	靖秋会	民謡・民舞	40P
	大根むき花保存会	その他	50P
	笠間市	笠間稲荷ばやし保存会	お囃子
岩間地方囃子保存会 八幡會		お囃子	04P
近森稲荷お囃子会		お囃子	04P
ひたちなか市	やんさ太鼓保存会	太鼓	26P
	創作和太鼓集団「来舞・デュオ」	太鼓	26P
	磯節道場	民謡・民舞	40P
	無比無敵流杖術保存会	その他	51P
	那珂市	瓜連おはやし保存会	お囃子
那珂市	菅谷鹿島神社大助ばやし保存会	お囃子	05P
	那珂市伝統文化日本舞踊親子教室	踊り・神楽舞	17P
	大正琴ハーブスターズと文化琴・ピアノ・二胡の会	箏・三味線・尺八	34P
	琴伝流大正琴孝響ハーモニー	箏・三味線・尺八	34P
	小美玉市	創作和太鼓集団 みのもり太鼓	太鼓
茨城町	小幡ひょっとこ囃子保存会	お囃子	06P
	秋葉囃子保存会	お囃子	06P
城里市	青山太鼓保存会	太鼓	27P
東海村	東海太鼓保存会	太鼓	28P

鹿行地域

鹿島市	三鹿子ども芸座連	お囃子	07P
潮来市	潮来藤究会	踊り・神楽舞	18P
	水府流吟道吾風会	詩吟・剣舞・詩舞	43P
神栖市	波崎はやうち太鼓保存会	太鼓	28P
	六代目三遊亭圓窓の仏っ子連神栖亭	その他	51P
鉾田市	鉾田囃子連合保存会	お囃子	07P

県西地域

古河市	大和田磐戸神楽保存会	踊り・神楽舞	18P
	古河神楽保存会	踊り・神楽舞	19P
	悪戸新田獅子舞	獅子舞	45P
結城市	一誠流吟研舎詩吟クラブ	詩吟・剣舞・詩舞	44P
下妻市	大町はやし保存会	お囃子	08P
	下妻市伝統芸能保存連合会	その他	52P
常総市	よさこい希	踊り・神楽舞	19P
	大塚戸芸能保存会	その他	52P
筑西市	櫻塚おはやし保存会	お囃子	08P
	上町お囃子保存会	お囃子	09P
	下町おはやし会	お囃子	09P
坂東市	神田囃子保存会神田山連	お囃子	10P
	猿島ばやし保存会	お囃子	10P
境市	井草大杉囃子保存会	お囃子	11P
	塚崎の獅子舞保存会	獅子舞	46P

県南地域

土浦市	田宮ばやし保存会	お囃子	11P	
	美重の会	踊り・神楽舞	20P	
	土浦三曲会	箏・三味線・尺八	35P	
	亀城太鼓保存会	太鼓	29P	
石岡市	排禍ばやし保存会	お囃子	12P	
	若松獅子舞保存会	獅子舞	46P	
龍ヶ崎市	貝原塚おこど囃子保存会	お囃子	12P	
	龍ヶ崎柳栄会	踊り・神楽舞	20P	
	龍ヶ崎相撲甚句会	民謡・民舞	41P	
取手市	本陣太鼓	太鼓	29P	
	取手市文化連盟水野箏曲会	箏・三味線・尺八	35P	
牛久市	華扇流日本のおどり崑座	踊り・神楽舞	21P	
	日本のおどり崑座キッズ	踊り・神楽舞	21P	
	日本舞踊 新舞踊 麻華流 牛久地域	踊り・神楽舞	22P	
	牛久かっぱ太鼓	太鼓	30P	
	箏曲研究室みやび	箏・三味線・尺八	36P	
つくば市	茶道裏千家清和会	茶道・華道・書道	38P	
	牛久相撲甚句会	民謡・民舞	41P	
	吉瀬三日月囃子保存会	お囃子	13P	
	筑波田中ばやし保存会	お囃子	13P	
	六斗ばやし保存会	お囃子	14P	
	琉球國祭り太鼓 茨城支部	太鼓	30P	
	常陸乃国ふるさと太鼓会	太鼓	31P	
	生田流箏曲正絃社 ふたつ葉会	箏・三味線・尺八	36P	
	津軽三味線 福静会	箏・三味線・尺八	37P	
	筑波山がまの油売り口上研究会	その他	53P	
	筑波山名物 福来七色唐がらし売り口上保存会	その他	53P	
	筑波山ガマ口上保存会	その他	54P	
	わこう一座	その他	54P	
	守谷市	和太鼓友	太鼓	31P
	稲敷市	江戸崎囃子連	お囃子	14P

かすみがうら市	かすみがうら日舞子供体験教室	踊り・神楽舞	22P
	若浦流若浦会かすみがうら支部	踊り・神楽舞	23P
	太子囃子獅子舞保存会	獅子舞	47P
つくばみらい市	賀博会	踊り・神楽舞	23P
	絹若流 若麻知会	踊り・神楽舞	24P
	小張松下流綱火保存会	その他	55P
	高岡流綱火更進団	その他	55P
美浦市	木原霞囃子	お囃子	15P
阿見町	石川同志會 石丸囃子	お囃子	15P
	阿見町掛馬芸能保存会	お囃子	16P
	南平台和太鼓クラブ	太鼓	32P
	日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座	箏・三味線・尺八	37P
	阿見町君島芸能保存会	民謡・民舞	42P
	曙面舞会	獅子舞	47P
河内町	粹人太鼓	太鼓	32P
利根町	斉真桜舟舞踊団	踊り・神楽舞	24P
	利根地固め唄	民謡・民舞	42P

その他

茨城県内	茨城県茶道連合会	茶道・華道・書道	38P
	茨城獅子頭彫刻研究会	獅子舞	44P
	茨城県能楽連盟	能	48P
	劇団 椿	演劇	49P